令和４年度　第７回 理事会議事録

日時：令和４年 11 月 22 日（火）19：00～20：
場所：Web 会議、県士会事務所
出席：(理事) 磯野、三科、北山、小林(司)、菊池、古屋、
　　井村、大西、鈴木、鮎川、渡邊、有泉
　(部長) 小林(泰)、丸茂、秋山
　(副部長) 平賀(満)
　(監事)谷村、齋藤
欠席：平賀（篤）
書記：五味

会員管理情報
慶事０件　弔事１件　施設数 150 施設
会員数 961 名（施設 896 名　自宅 65 名）

磯野会長より挨拶
　お疲れ様です。11 月 11 日に監査があり事業報告並びに予算執行状況を確認いただきました。本日は監事のお二方が出席されていますので後程お話いただきたいと思います。各局でも進められていない事業等がありましたら実施できるようにお願いします。

Ⅰ.審議事項（全４題）
1.SNS を活用した事業説明会について
（大西広報局長）
　今年度の事業説明について You Tube1 を活用したいと思っています。説明は PowerPoint のスライド３枚程度を使用して局長が3分程度で行うようにしたいという案ですがいかがでしょうか。配信については限定公開にする予定です。

質問・意見
有泉：今後何らかの事業や研修等の配信にも繋がる案件だと思います。
鈴木：説明時間は各部・局で 3 分いただけるということでしょうか。限定というのは期間なのか会員なのかお聞きしたいです。
大西：各局 3 分でお願いしたいと思っています。士会員限定で配信したいと考えています。
鈴木：ホームページに載せるということではなく個人に URL をメール送信するということですか。
大西：その部分を含めて今回審議させていただきたいと思います。
鈴木：意見としては士会員限定でなくてもいいかと思います。期間については限定してもいいいかなと思います。各局の説明時間についてはもう少し長くてもいいかなと思います。
北山：山梨県士会の活動を知ってもらうためには見ることができる方を限定しなくてもいいのではないかと思います。最近の動向としては短い動画でまとめている動画が多い傾向がありますので、始めの入りは短時間の動画で、興味がある方はさらに URL でリンクしてもらうようにするといいのではないかと思います。
磯野：ライブではなく録画ですか
大西：録画で行っていきたいと思います。運用方法についてはまとめて配信するのか局単位でしていくのかは検討したいと思います。
北山：今年度については期間が迫ってきているので今回はまとめて配信する方法がいいかと思います。

結果
・今後 You Tube を活用していく
・運用方法については検討していく

2.生活期リハビリテーション研修会のカリキュラムコードについて(小林副会長)
　訪問理学療法委員会として研修会を予定しています。
①日時：令和５年１月 25 日(水)　18：30～20：30
　会場：Zoom
　内容：自立支援を考えた家屋調査の実際について
　　①地域支援事業の現状と POS バンクの家屋調査にどのようなことを期待しているのか
　　②自立支援に向けた家屋調査・給付適正化事業の紹介
　講師：①嶋津栄伸先生　山梨県健康長寿推進課
　　②笠井斗志夫先生　塩川病院理学療法士
　　中野渡峰一先生　塩川病院作業療法士
　カリキュラムコード：区分 12-145　　住環境
②日時：令和５年２月２日(木)　18：30～20：30
　会場：Zoom
　内容：生活期リハビリテーションのこれからを語ろう～多職種連携と終末期を中心に～
　　①医師との連携で困り事や工夫していること
　　②終末期の対応に焦点を当て、現状のリハ介入や多職種連携を議論する
　講師：竹中悠　峡北シルバーケアセンター
　　岡大樹　訪問看護ステーションつゆき
　カリキュラムコード：区分 14-166
　　地域医療と理学療法

結果
・審議内容について承認された。

3.研修会の開催について(小林副会長)
　認知症対策委員会として研修会を予定しています。
　日時：令和５年２月８日(水)　19：00～20：30
　会場：Zoom
　内容：未定
　講師：森彰司先生　甲州リハビリテーション病院
　今回作業療法士の先生に講師を依頼しました。審議をお願いします。

質問・意見
有泉：ポイント申請をする研修という理解でよろしいでしょうか。

小林(司)：はい。
鮎川：県士会主催の研修ということでよろしいですか。
小林(司)：理事会で承認いただければということで議題として挙げさせていただきましたが、どのような分類になりますか。
鮎川：予算として挙げているものであれば士会主催になるようです。
小林(司)：士会の拠出金で開催をする予定です。
北山：過去に行った研修でもポイントを認められてきたものなので、申請方法によるかと思います。
小林(司)：今後も委員会で行う研修でこのようなケースが多く挙がってくるかと思いますが、今回のような対応でよろしいでしょうか。
磯野：県士会の組織として認められているものなので問題ないと思います。共催は可能か。
鮎川：士会が主催ということであれば登録理学療法士や認定理学療法士の申請ポイントとして使用できますが、共催では更新する際に必要なポイントでの使用に限られるようです。また、共催のイメージとしては1つの病院が他の士会員に向けて研修を行うような場合を共催とするので、今回の件は主催で構わないと思います。

結果
・審議内容について承認された。
・委員会の研修予定も理事会で審議・承認してポイント申請していく。

4.アンケート調査について(井村企画局長)
アンケート調査の質問項目について審議頂きたいと思います。現代の情勢において性別を聞くことについてご意見いただきたいです。

意見・質問
有泉：社会状況においては敢えて聞く必要はないように思いますが、男女比として算出したい質問事項ということで回答いただくこともあるかと思います。
北山：無回答やその他という記述でもいいかと思います。
鈴木：回答しないという選択肢はないですか。無回答という選択肢を選ぶ時点で回答している現状があるので、例えば質問事項に任意と記載して配慮したりなど考えられますが。
井村：任意とする意見はありました。
北山：全てを記述にしてもいいかと思います。
小林(司)：男女比がほしい内容の時に質問事項に載せるということでいいのではないかと思います。

結果
・基本的な質問内容については承認された。
・本理事会後の意見も反映して検討し、理事会に審議事項として挙げる。

Ⅱ.報告事項
1.中間監査報告(谷村監事、斎藤監事)
新入会員が伸び悩んでいることや事業の進捗状況が芳しくないことなどお伺いをさせていただきました。
社会的な状況で実施できていない事業もありますので可能な限り実施していただけたらと思います。職場における腰痛予防の事業については理学療法士として活躍できる事業であると期待をしています。スポーツ理学療法部のオリンピックスタッフとしての参加報告書も現在作成しているとのことで期待しています。県内の新聞社での掲載については県民の皆様に理学療法士を知ってもらうという意味でも必要かと思います。特別委員会の士会組織検討委員会では県士会の将来像として一部の方や施設が負担になるようなことがないように進めていただけたらと思います。
財務についてご報告させていただきます。事業が遂行できていない部分があり後半忙しくなるとは思いますがよろしくお願いします。丸茂先生と平賀先生の2名体制で帳簿や出納帳の管理をしていただいていますが、引き続き運用をお願いします
2.各委員会等の報告
①糖尿病対策推進委員会より(小林副会長)
研修会の開催報告になります。
日時：令和4年11月10日(日)
会場：Web研修
内容：糖尿病に対する多職種連携セミナー
研修会で名前の変更ができないとの問い合わせが多くあり対応していただきました。また、研修会翌日に送信したメールにて送信トラブルにより11名のメールアドレスが流出してしまいました。原因はBccではなくToの部分に全員分のアドレスを入力してしまったことです。すでに各個人へお詫びのメールと電話連絡をさせていただきました。今後連絡先としてキャリアメールではなく確実に送信できるものを使用することで再発防止に努めていきます。

意見・質問
北山：運営側としてもドメイン指定解除のお願いなど案内文に載せる必要があるかと思います。
磯野：お詫び等丁寧な対応をしていただきありがとうございました。今後もダブルチェックを徹底してください。

②認知症対策委員会より(小林副会長)
11月20日(日)に笛吹市御坂図書館にて認知症に関してのイベントを開催しました。内容としてはロコモチェックやトートバッグ、ペン、冊子の配布を行いました。

意見・質問
磯野：久しぶりにいいイベントを開催できたなと思いました。清水先生をはじめ多くの方にご協力いただきありがとうございました。

③災害対策支援委員会より(小林副会長)
山梨県地震防災訓練に参加した報告です。

日時：令和4年11月6日(日)　8:00～12:00
会場：西桂町(西桂町いきいき健康福祉センター)
参加：宮下大佑先生　甲州リハビリテーション病院
磯野弘司先生　春日居サイバーナイフリハビリテーション病院
赤池洋先生　山梨大学医学部付属病院
大野了資先生　市川三郷町立病院
内容：西桂中学校生徒36名に車椅子の扱い方や搬送時の注意点等を説明したあと実践していただきました。また、災害グッズを試してもらう等いい訓練になったと思います。

④特別支援教育委員会より(有泉事務局長)

山梨県リハビリテーション専門職団体協議会特別支援教育委員会主催研修会を予定しています。

日時：令和5年1月31日(火)　19:00～
会場：Zoom
講師：古屋義博先生　山梨大学大学院
内容：現場教員が専門職に求めるものを中心に検討中

当日は中継として士会事務所を使用します。

3.各局・部より報告

①生涯学習局(鮎川生涯学習局長)

以前お話させていただきました山梨県士会主催症例検討会の開催について詳細が決まりましたのでご報告させていただきます。

日時：令和5年3月5日(候補日)
1症例30分の約3時間程度
内容：神経系、運動器、内部疾患を2症例程度
座長：神経系　北山哲也先生
運動器　粕山達也先生
内部疾患　佐野徳男先生

登録理学療法士を目指す方向けの研修になります。

応募が少ない際には発表依頼をお願いさせていただきます。

②士会学術集会部より(菊池学術大会局長)

山梨県理学療法士会学術集会の進捗状況についてご報告させていただきます。一般演題の座長の募集で3名の立候補がありプログラムの変更を行いました。一般演題は15題となりました。教育講演の座長は韮崎市立病院の古屋先生に内諾をいただきました。今後リハーサルを実施していく予定です。

③社会局より(古屋社会局長、小林副会長)

ダイハツ工業様の研修会が無事終了しました。資料については再度提出したいと思います。本日話題になりました、企業の腰痛予防についてですが、広報活動に力をいれていきたいと思います。株式会社菊島様より腰痛予防講座の依頼がありました。経緯として当士会のホームページにたどりついたことがありますので、アクセスしやすいような環境を作るなど必要になってくるかと思います。

産業保健センターに問い合わせると企業からの依頼が円滑になるという情報を得ましたので共有したいと思います。

Ⅲ．事務管理局より(有泉事務局長)

①学校保健に関わる法的問題の対処について

小尾元スポーツ理学療法部長より、他都道府県の学校保健に携わる際に法的問題の対処が必要になった際は学校の事件事故に詳しい弁護士を通して行っているとの話がありました。

当士会ではスポーツ理学療法部、特別支援教育委員会、学校保健推進執行委員と3つの部署が活動しており、今後の活動において協力を得るために永淵総合法律事務所の手塚弁護士へ問い合わせを行い、12月8日(木)16時～アポイントを取りました。また、協会理事の板倉先生にもご同席いただき今後活動するにあたっての問題点など話し合いたいと思います。

意見・質問

磯野：組織として顧問弁護士をつけるということが多くの団体で当たり前になっているので、将来的にはそのような体制も必要になってくると思います。そのことについてもお話いただけたらと思います。

②メールアドレスの管理の徹底について

前述しました糖尿病対策推進委員会より、研修会の際に11名のメールアドレスの流出が確認されました。今後の対策としてBccの利用を徹底し、一斉送信やCcの利用は現厳禁ということを忘れずに行っていただきたいと思います。

Ⅳ．その他

1.送付される書類の宛先につて(谷村監事)

事務局よりいただく書類の宛先について名称を用いないものが多くみられます。誰宛てなのか漠然としてしまうのでしっかり名称を用いていただければと思います。

Ⅴ.次回の理事会日程について

理事会 12月27日（火）19：00～
場所　Web会議
連絡　12月23日（金）までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)rpt.shizuka@gmail.comへ提出する。
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。